

環境負荷の全体像

2010年度の環境パフォーマンスのポイント

2010年度は中長期目標として「2015年度に2005年度比、全社でエネルギー使用量を23%、CO₂排出量を15%削減する」を設定して省エネ活動に取り組みました。また、省エネ機器の導入やエネルギー効率の高い設備への更新など積極的な投資も実施しました(P.34環境会計参照)。

その結果、2010年度は猛暑、厳寒でしたが二酸化炭素排出量は前年比48t-CO₂減少しました。メーカーとして製品における環境配慮、回収・リユース・リサイクルにおける再資源化率の向上、埋立最終処分量の低減が重要であると認識し、今後もさらに環境負荷の低減に向けて活動していきます。

注：事業工程ごとのINPUT/OUTPUTの開発・設計、生産工程では社有車の燃料消費を集計から除外しているため、社有車の燃料消費を集計している全社環境目標のCO₂排出量および売上高原単位の結果(P.20)と異なります。

集計範囲：右表の事業工程ごとのINPUT/OUTPUTを集計しています。

集計対象：日本国内

- ・開発・設計、生産でのエネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量、水使用量と排水量、廃棄物排出量。
- ・生産での物質投入量、PRTR物質投入量と移動・排出量。販売での社有車のガソリン使用量とそれに伴うCO₂排出量。
- ・回収・リユース・リサイクルでの使用済み製品回収量と廃棄物排出量です。
- ・本社ならびに営業部門でのエネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量は含んでいません。

INPUT

	2009年度	2010年度	2009年度比 (%)
エネルギーの使用量内訳			
電気使用量 MWh/年	8,010	7,892	99
LPG t/年	53	64	121
A重油 kℓ/年	148	114	77
ガソリン kℓ/年	516	554	107
委託貨物輸送量*6 万t-km	1,163	1,139	98
水の使用量 (m ³)	34,099	32,808	96
金属 (t)	1,820	1,412	78
プラスチック (t)	1,466	1,365	93
ガラス (t)	25	16	64
紙 (t)	2,747	2,801	102
その他 (t)	4,009	4,060	101
小計	44,166	42,462	96
PRTR物質 (t)	2.2	23.5	注1 1,068
回収量 (t)	2,748	2,511	91

OUTPUT

	2009年度	2010年度	2009年度比 (%)
CO ₂ 排出量 t-CO ₂ /年	8,423	8,375	99
電気 t-CO ₂ /年	4,446	4,380	99
LPG t-CO ₂ /年	159	192	121
A重油 t-CO ₂ /年	401	309	77
ガソリン t-CO ₂ /年	1,228	1,309	107
委託貨物輸送*6 t-CO ₂ /年	2,189	2,185	100
排水量 (m ³)	23,827	22,397	94
蒸気放散・散水その他 (m ³)	5,989	6,039	101
製品*5 (t)	14,350	14,026	98
小計	44,166	42,462	96
PRTR物質の大気への排出量(kg)	4	2	50
PRTR物質の水域への排出量(kg)	0	0	-
PRTR物質の土壌への排出量(kg)	2	5	250
PRTR物質の廃棄物への移動量(kg)	21	166	注1 790
廃棄物排出量*1 (t)	3,985	3,606	90
再生投入量*7 (t)	403	414	103
再資源化量*2 (t)	3,532	3,128	89
その他*3 (t)	17	40	235
埋立最終処分量*4 (t)	33	24	73
再資源化率	98.7	98.2	

●CO₂排出量の算定について

電力：0.555kgCO₂/kWh、ガソリン：2.32kgCO₂/ℓ、A重油：2.71kgCO₂/ℓ、LPG：3.00kgCO₂/kg
(平成22年3月の温対法の改正により電気については電力会社毎の換算係数を用いることになりましたが経年変化を見るために共通の換算係数として0.555を用いています。)

*1廃棄物排出量…当社では、有価物や再資源化されるもの、リユースされるものを含めて工程から不要物として排出されるものすべてを廃棄物としています。

*2再資源化量…再資源化された量および熱を得る利用(サーマルリサイクル)量で有価物をふくめた合計量で、工程に再投入される量は除く。

*3廃棄物排出量内訳のその他…再資源化処理や焼却処分でのガスとしての放出量など。

*4埋立最終処分量…埋立処分される量。再資源化処理などの中間処理で発生する残渣、焼却灰で埋立処理される量を含む。

*5主要製品…高速カラープリンター「オルフィス」、デジタル印刷機「リソグラフ」およびそれらのインク、マスターのサプライ品。

*6輸送業者への委託貨物輸送量…輸送業者に委託する製商品、部品・パーツの配送・調達、使用済み製品の回収、廃棄物の搬送などの輸送量。

*7再生投入量…再資源化処理されたものうち原材料として工程に再投入される量です。

注1… 2010年10月よりBHTが報告対象(第一種指定化学物質)に指定されたことにより大きく増加しました。この影響を除くと総取扱量は2009年度より0.1tの減少、排出量・移動量の合計は1.7kgの減少となります。

事業工程ごとのINPUT/OUTPUT(2010年度)

事業工程	INPUT			OUTPUT				
	2009年度	2010年度	2009年度比 (%)	2009年度	2010年度	2009年度比 (%)		
開発・設計 ▶ P.8~9	製品開発におけるエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量などを表します。							
【集計範囲】 開発技術センター (筑波事業所内) 若葉事業所 S&A開発つくば(三井ビル内) 芝浦プラザ ※但し、開発技術センターの水使用量、排水量は単独での数値把握ができないため下記の生産(筑波事業所)の項に含めています。	エネルギーの使用量			CO ₂ 排出量 t-CO ₂ /年	1,277	1,206	94	
	内訳：電気使用量MWh/年	2,263	2,135	94	内訳：電気 t-CO ₂ /年	1,256	1,185	94
	LPG t/年	7	7	100	LPG t-CO ₂ /年	21	21	100
	水の使用量 (m ³)	2,891	4,032	139	排水量 (m ³)	2,891	4,032	139
				廃棄物排出量*1 (t)	239	143	60	
				内訳：再資源化量*2 (t)	235	142	60	
				その他*3 (t)	1	1	100	
				埋立最終処分量*4 (t)	3	0	0	
生産 ▶ P.10~11	生産した主要製品*5への材料投入量とエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量、廃棄物排出量などを表します。							
【集計範囲】 筑波事業所(開発技術センター除く) 宇部事業所、霞ヶ浦事業所	エネルギーの使用量			CO ₂ 排出量 t-CO ₂ /年	3,729	3,675	99	
	電気使用量MWh/年	5,747	5,757	100	電気 t-CO ₂ /年	3,190	3,195	100
	LPG t/年	46	57	124	LPG t-CO ₂ /年	138	171	124
	A重油 kℓ/年	148	114	77	A重油 t-CO ₂ /年	401	309	77
水の使用量 (m ³)	31,208	28,776	92	排水量 (m ³)	20,936	18,365	88	
金属 (t)	1,820	1,412	78	蒸気放散・散水その他 (m ³)	5,989	6,039	101	
プラスチック (t)	1,466	1,365	93	製品*5 (t)	14,350	14,026	98	
ガラス (t)	25	16	64					
紙 (t)	2,747	2,801	102					
その他 (t)	4,009	4,060	101					
小計	41,275	38,430	93	小計	41,275	38,430	93	
PRTR物質 (t)	2.2	23.5	注1 1,068	PRTR物質の大気への排出量(kg)	4	2	50	
				PRTR物質の水域への排出量(kg)	0	0	-	
				PRTR物質の土壌への排出量(kg)	2	5	250	
				PRTR物質の廃棄物への移動量(kg)	21	166	注1 790	
				物排出量*1 (t)	998	952	95	
				内訳：再資源化量*2 (t)	975	909	93	
				その他*3 (t)	16	39	244	
				埋立最終処分量*4 (t)	7	4	57	
販売 ▶ P.14~15	お客様への販売活動や保守サービス活動などに際して使用する車両の燃料、CO ₂ 排出量を算出しています。							
【集計範囲】 国内営業拠点および子会社	エネルギーの使用量			CO ₂ 排出量				
	ガソリン kℓ/年	516	554	107	ガソリン t-CO ₂ /年	1,228	1,309	107
	輸送業者への委託貨物輸送量*6				委託貨物輸送t-CO ₂ /年	2,189	2,185	100
委託貨物輸送量万t-km	1,163	1,139	98					
回収・リユース・リサイクル ▶ P.16~17	使用済みとなった製品の回収およびリユース、リサイクル量を表します。尚、回収した製品の有効利用を進めていますが、一部埋立処分も行っています。							
【集計範囲】 日本国内の使用済み製品	回収量 (t)	2,748	2,511	91	廃棄物排出量*1 (t)	2,748	2,511	91
					再生投入量*7 (t)	403	414	103
					再資源化量*2 (t)	2,322	2,077	89
					その他*3 (t)	0	0	-
					埋立最終処分量*4 (t)	23	20	87

*1廃棄物排出量…当社では、有価物や再資源化されるもの、リユースされるものを含めて工程から不要物として排出されるものすべてを廃棄物としています。

*2再資源化量…再資源化された量および熱を得る利用(サーマルリサイクル)量で有価物をふくめた合計量で、工程に再投入される量は除く。

*3廃棄物排出量内訳のその他…再資源化処理や焼却処分でのガスとしての放出量など。

*4埋立最終処分量…埋立処分される量。再資源化処理などの中間処理で発生する残渣、焼却灰で埋立処理される量を含む。

*5主要製品…高速カラープリンター「オルフィス」、デジタル印刷機「リソグラフ」およびそれらのインク、マスターのサプライ品。

*6輸送業者への委託貨物輸送量…輸送業者に委託する製商品、部品・パーツの配送・調達、使用済み製品の回収、廃棄物の搬送などの輸送量。

*7再生投入量…再資源化処理されたものうち原材料として工程に再投入される量です。

注1… 2010年10月よりBHTが報告対象(第一種指定化学物質)に指定されたことにより大きく増加しました。この影響を除くと総取扱量は2009年度より0.1tの減少、排出量・移動量の合計は1.7kgの減少となります。